

山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

研究課題名	多発外傷に対する脊椎骨盤同時後方固定の有用性の検討
該当者	2020年1月以降に当院で脊椎損傷と骨盤輪損傷を合併し、後方固定術を同時に行った症例を対象とします。
当院の研究責任者	救急科 根本信仁
研究代表者	救急科 根本信仁
本研究の目的	当院は多発外傷を含め、多くの外傷患者さんに対応しています。多発外傷の中には脊椎外傷と骨盤輪損傷を合併する症例も存在し、早期の安静度拡大を目指して経皮的椎弓根スクリュー固定(以下PPS法)とGull wing plateを用いた骨盤後方固定(以下Gull wing法)を同時に行なうことがあります。PPS法とGull wing法同時手術の有効性と周術期合併症を明らかにすることを目的としています。
実施予定期間	2023年11月1日～2024年12月31日
研究の方法	2020年1月以降に当院で脊椎損傷と骨盤輪損傷を合併し、PPS法とGull wing法を同時に行った症例を対象とし、電子カルテに記載のある診療情報から調査を行います。
研究に用いる試料・情報の種類	Injury Severity Score (ISS)、予測生存率(Ps: Provability of Survival)、受傷から手術までの待機期間、術後離床までの期間(離床期間)、手術時間、出血量、周術期合併症、受傷前後の日常生活動作(ADL)について検討します。
外部への試料・情報の提供・公表	調査研究成果を学会、学会誌で公表します。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。
利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
お問合せ先	救急科 根本信仁 023-685-2626